

2025 年度事業報告書

作成者：代表理事 黒島光昭

1. 法人名

一般財団法人さわかみ未来創造研究所

2. 事業年度

2025 年 1 月 31 日～2025 年 12 月 31 日

3. 今年度の事業方針

支援生 12 名を選定して助成金を支給すると共に、理事の現場見学や進捗報告会を通じてアドバイスを行いながら目標達成に向けて伴走する。

4. 事業内容（詳細は事業報告の付属明細書にて）

4-1：支援生（1 期生）の選考会の実施

2025 年 3 月 13 日に選考会を実施。その発表内容は当財団ホームページに掲載した（<https://sawakami-mirai-lab.org/category/support/2025/>）。過半数の理事の賛成を以って 12 名を選考し、4 月に支援金を支給した。2025 年 12 月に新たな支援生候補の理事面談と臨時理事会を実施し 2 名を支援生として追加した。2 名のプレゼン資料と計画表は付属明細書として添付する。

4-2：中間進捗発表会（ピッチ会）

2025 年 8 月 4 日に中間報告のピッチ会を行った。各支援生の研究の方向性を確認するとともに、支援生同士の交流の場としてお互いの連携の可能性などアイデア交換を行った。

4-3：理事面談と進捗報告の個別講演会の実施

下記のようなスケジュールで個別講演会をさわかみグループ内で実施した。同時にそれぞれ 15 分～30 分の理事面談を行い、進捗の確認や今後の課題解決のアドバイスを行った。

【個別講演会の実施実績（2025 年）】

6/23	17:30～19:30	畑中 龍平
7/29	19:00～20:30	桂 三輝
7/31	17:30～19:30	野村 佳祐
8/7	17:30～19:30	福嶋 佳菜子
		加藤 和樹
9/16	17:30～19:30	櫃割 仁平
10/8	17:30～19:30	万福 和子
		長谷川 敬章
11/19	17:30～19:30	宮野 公樹
		衣川 凌太
12/12	17:30～19:30	目次 伯光
		湯沢 哲至

4-4 個別案件の現場訪問

下記のような個別面談および4-3の理事面談にて、計画の大きな方向性と支援生の意欲に問題がないことを確認したので来年度の支給継続を予定している。野村佳祐氏については、これまでの研究を継続する形で大手企業（株式会社ヤクルト本社）への来春からの就職が決定したため、今年度で助成を終了する旨を本人に伝えている。

【個別訪問と個別面談の記録（2025年）】

期日	支援生	訪問先	進捗状況、アドバイス
2025/3/10 2025/6/4	畑中 龍平	デジタルブラスト社 (神保町)	北海道大学藤田教授との共同研究の進捗と、来年以降の北海道大学発ベンチャーとしての活動の計画についてヒヤリング。一時的な籍を宇宙開発ベンチャーであるデジタルブラスト社に置いている状況について説明があった。来年以降は、北大ベンチャーとして独立の予定。
2025/5/14	万福 和子	産業技術総合研究所	指導教官との面談とリンの保全についてのアイデア交換を実施。水処理分野からの考察と土壌蓄積分からの議論を合わせて整理した。イモゴライトからのリン抽出のアイデアについて実験方法の説明あり。
2025/4/23 2025/7/29	桂 三輝	浅草 木馬亭	浅草講演にグループ社員と家族・知人を招待。インバウンド客に向けて活発な講演活動が進んでいる。鑑賞会後の懇親会にて弟子4名の育成方針と今後の講演計画について説明あり。2026年1月22日講演の見学、理事面談予定。
2025/6/20	福嶋 佳菜子	国際医療福祉大学 赤坂キャンパス	実験施設を見学。学会運営のためのデータベースのプラットフォーム化について相談を受けたため、グループ内ITサービス企業を紹介。後日ミーティングを実施済。
2025/6/23	長谷川 敬章	慶応大学薬学部芝 共立キャンパス	指導教官との面談と実験室の見学を実施。学術論文の準備について報告あり。計画の前倒しで特許の出願の準備が内部の事務方で進んでいるとの報告あり。
2025/7/27	加藤 和樹	横浜ビール（桜木町）	醸造室を見学。ビール酵母の観察と定量的な分析が顕微鏡を用いて丹念に行われていることを確認。ビール粕（種菌）の返送、ホップの選択、低温での温度管理など微調整しながら新商品の開発が進捗している。

2025/8/28	櫃割 仁平	大手町（アカデミスト社イベント）	欧州学会での発表や論文の執筆が順調であることを確認。年間 3 本の査読論文が受理される見込み(2025 年 12 月時点)。SNS サイトも立ち上げており若手心理学研究者コミュニティの発信源となっている。
2025/9/14	衣川 凌太	横浜（さわかみ投信運用報告会）	論文投稿の準備、担当教官とのすり合わせについて説明あり。実績を積むための海外留学の可能性についてヒヤリング。
2025/10/7	宮野 公樹	横浜ビジネスパーク	イベント横浜大会を見学。延べ 400 人の参加者に向けた研究者のポスター大会を実施。匿名による自由な一言コメントが評判となり、産学官連携のきっかけを 1 会場 30 件程度生み出している。9 月出稿の論文の提出あり。
2025/12/9	野村 佳祐	筑波大学微生物サステイナビリティ研究センター	海外学会での発表と学会賞の受賞、論文の査読状況報告を受けた。4 月からの就職先が決定し、現在の研究テーマを継続する形で企業研究者として進むとの報告あり。
2026/1~2	目次 伯光 湯沢 哲至	-	訪問予定

以上